

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるように なっています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います(「現地プログラム」)。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほかに、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」(現地で調査活動を行うプログラム)や、「現地インターンシップ」(現地の企業で研修を行うプログラム)などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。		

履修モデル	コース	ビジネスコース(現地インターンシップを履修する日本人学生の場合)
養成する人材像	中国語及び英語能力を備え、日中ビジネスを中心に幅広く活躍できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セマスタ―	単位	第2セマスタ―	単位	第3セマスタ―	単位	第4セマスタ―	単位	第5セマスタ―	単位	第6セマスタ―	単位	第7セマスタ―	単位	第8セマスタ―	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1			TOEIC I	1	TOEIC II	2							5
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	統計学入門	2	環境の科学	2			情報と社会	2	哲学	2	憲法学入門	2					18
		心理学	2	国際関係論	2													
		日本理解 I	2	日本理解 II	2													
	体育分野	スポーツ・健康演習	2			スポーツ実技 I	1											3
専門教育科目	専門共通部門	現代中国入門	2	中国経済概説	2			現代中国学総論	2			日中関係論	2					14
		中国前近代史	2					中華人民共和国史	2			日中戦争史	2					
	ビジネス部門			東アジア観光文化論	2			中国経済論	2	日中ビジネス論	2	中国情報産業論	2	アジア経済関係論	2			22
								中国製造業論	2	中国農業経済論	2	中国国際経済論	2					
								国際経済学概説	2			中国法	2					
												中国サービス産業論	2					
	言語文化部門																	0
	国際関係部門																	0
	中国語強化部門							中国語プレゼンテーション I	2	中国語プレゼンテーション II	2							4
	外国書講読																	0
	語学部門	中国語リスニング I	1	中国語リスニング II	1	応用中国語 I	2	コミュニケーション中国語 I	2	コミュニケーション中国語 II	2	日中ビジネス会話 I	2	日中ビジネス会話 II	2			36
		基礎中国語 I	1	基礎中国語 V	1	応用中国語 II	2	Business English	2									
		基礎中国語 II	1	基礎中国語 VI	1	応用中国語 III	2											
		基礎中国語 III	1	基礎中国語 VII	1	応用中国語 IV	2											
		基礎中国語 IV	1	基礎中国語 VIII	1	応用中国語 V	2											
						応用中国語 VI	2											
						応用中国語 VII	2											
						応用中国語 VIII	2											
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習 I	2	専門演習 II	2	専門演習 III	2	専門演習 IV	2	16
																卒業研究	4	
	中国語情報部門			ネットワーク情報論	2													2
	現地プログラム部門			現地プログラム基礎	2	現地ライフレポート	1											9
				現地プログラム生活事前教育	2	中国文化講座	2											
						現代中国社会論	2											
	現地調査部門																	0
	現地インターンシップ関連部門									現地インターンシップ事前研修	2	現地インターンシップ研究報告	2					4
	隣接・関連部門									マクロ経済学入門	2			日本経済論 I	2	日本経済論 II	2	6
	教職課程科目																	0
合 計			20		22		22		21		18		20		8		8	139

- 卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計21単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 英語 3単位以上
(2) 数理・情報分野 2単位以上
(3) 自然分野 2単位以上
(4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
(5) 体育分野 2単位以上
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計82単位以上を修得しなければならない。
(1) 専門共通部門 14単位以上
(2) ビジネス部門 14単位以上
(3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
(4) 語学部門 28単位以上
(5) 演習部門 12単位以上
(6) 中国語情報部門 2単位以上
3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から21単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるようになっています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います(「現地プログラム」)。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほかに、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」(現地で調査活動を行うプログラム)や、「現地インターンシップ」(現地の企業で研修を行うプログラム)などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。		

履修モデル	コース	ビジネスコース(現地インターンシップを履修する中国語を母語とする留学生の場合)
養成する人材像	日本語及び英語能力を備え、日中ビジネスを中心に幅広く活躍できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	日本語Ⅰ	1	日本語Ⅲ	1	日本語Ⅴ	1	日本語Ⅶ	1	ビジネス日本語Ⅰ	2	ビジネス日本語Ⅱ	2	WritingⅠ	2	WritingⅡ	2	33
		日本語Ⅱ	1	日本語Ⅳ	1	日本語Ⅵ	1	日本語Ⅷ	1	専門日本語Ⅰ	2	専門日本語Ⅱ	2					
		日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2	Communication SkillsⅠ	2	TOEICⅠ	1	TOEICⅡ	2	TOEICⅢ	2					
		ReadingⅠ	1	ReadingⅡ	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	プレゼンテーション技術	2	日本発信応用	2	健康と栄養	2	キャリアデザイン基礎	2	キャリアデザイン応用	2			24
		経営学入門	2	日本理解Ⅱ	2	環境と都市	2											
		日本理解Ⅰ	2			日本発信基礎	2											
		異文化コミュニケーション	2															
	体育分野	スポーツ・健康演習	2															2
教育	専門共通部門	現代中国入門	2	中国経済概説	2	東アジアポップカルチャー	2	現代中国学総論	2									20
		相互交流基礎	2	中国地理	2													
		中国前近代史	2	中国近代史	2													
				中華人民共和国史	2													
	ビジネス部門			東アジア観光文化論	2	中国政治論	2	中国経済史	2	アジア経済関係論	2	中国国際経済論	2					24
						中国農業経済論	2	中国経済論	2			中国製造業論	2					
						日中ビジネス論	2	国際経済学概説	2			中国サービス業論	2					
												中国情報産業論	2					
	言語文化部門					国際文化論	2			日中比較文化論	2	東アジア古典芸術論	2	中国教育論	2			8
	国際関係部門															日本外交論	2	2
	中国語強化部門																	0
	外国書講読																	0
	語学部門							Business English	2	日中ビジネス会話Ⅱ	2							6
								日中ビジネス会話Ⅰ	2									
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	16
																卒業研究	4	
	中国語情報部門			ネットワーク情報論	2													2
	現地プログラム部門																	0
	現地調査部門																	0
	現地インターンシップ関連部門									現地インターンシップ事前研修	2	現地インターンシップ研究報告	2					4
	隣接・関連部門					日本経済論Ⅰ	2	日本経済論Ⅱ	2	日本の伝統芸能	2			会計学入門	2			10
										中国ビジネス論	2							
	教職課程科目																	0
合 計			22		22		22		21		22		22		10		10	151

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計33単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 英語 3単位以上、日本語8単位以上、日本事情4単位以上
(2) 数理・情報分野 2単位以上
(3) 自然分野 2単位以上
(4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
(5) 体育分野 2単位以上
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計54単位以上を修得しなければならない。
(1) 専門共通部門 14単位以上
(2) ビジネス部門 14単位以上
(3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
(4) 演習部門 12単位以上
(5) 中国語情報部門 2単位以上
3 上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から37単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるようにしています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います（「現地プログラム」）。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほかに、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」（現地で調査活動を行うプログラム）や、「現地インターンシップ」（現地の企業で研修を行うプログラム）などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。		

履修モデル	コース	ビジネスコース（現地インターンシップを履修する中国語を母語としない留学生の場合）
養成する人材像	日本語・中国語及び英語能力を備え、日中ビジネスを中心に幅広く活躍できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	日本語Ⅰ	1	日本語Ⅲ	1			日本語Ⅶ	1	ビジネス日本語Ⅰ	2	ビジネス日本語Ⅱ	2	専門日本語Ⅰ	2	専門日本語Ⅱ	2	25
		日本語Ⅱ	1	日本語Ⅳ	1			日本語Ⅷ	1	TOEICⅡ	2	TOEICⅢ	2					
		日本語Ⅴ	1	日本語Ⅵ	1			TOEICⅠ	1									
		日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	日本理解Ⅰ	2	マルチメディア表現法	2			情報リテラシー入門	1	経営学入門	2	健康と栄養	2					15
		環境と都市	2					日本理解Ⅱ	2	異文化コミュニケーション	2							
	体育分野	スポーツ・健康演習	2			スポーツ実技Ⅰ	1											3
教育	専門共通部門	現代中国入門	2	中国经济概説	2			現代中国学総論	2			日中関係論	2					16
		相互交流基礎	2	中国地理	2			中国語学概説	2									
								中国经济概説	2									
	ビジネス部門							中国经济論	2	日中ビジネス論	2	東アジア観光文化論	2	中国政治論	2			18
								国際経済学概説	2	アジア経済関係論	2	中国サービス産業論	2					
								中国製造業論	2			中国情報産業論	2					
	言語文化部門									日中比較文化論	2							2
	国際関係部門													国際文化論	2			2
	中国語強化部門																	0
	外国書講読																	0
	語学部門	中国語リスニングⅠ	1	中国語リスニングⅡ	1	応用中国語Ⅰ	2	コミュニケーション中国語Ⅰ	2			日中ビジネス会話Ⅰ	2	日中ビジネス会話Ⅱ	2			32
		基礎中国語Ⅰ	1	基礎中国語Ⅴ	1	応用中国語Ⅱ	2											
		基礎中国語Ⅱ	1	基礎中国語Ⅵ	1	応用中国語Ⅲ	2											
		基礎中国語Ⅲ	1	基礎中国語Ⅶ	1	応用中国語Ⅳ	2											
		基礎中国語Ⅳ	1	基礎中国語Ⅷ	1	応用中国語Ⅴ	2											
						応用中国語Ⅵ	2											
						応用中国語Ⅶ	2											
						応用中国語Ⅷ	2											
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	16
																卒業研究	4	
	中国語情報部門			中国データ分析	2													2
	現地プログラム部門			現地プログラム基礎	2	現地ライブレポート	1											9
				現地プログラム生活事前教育	2	中国文化講座	2											
						現代中国社会論	2											
	現地調査部門																	0
	現地インターンシップ関連部門									現地インターンシップ事前研修	2	現地インターンシップ研究報告	2					4
	隣接・関連部門									日本経済論Ⅰ	2	日本経済論Ⅱ	2	日本の伝統芸能	2			8
										中国ビジネス論	2							
	教職課程科目																	0
合 計			22		22		22		22		22		22		12		8	152

卒業要件（卒業必要単位：124単位）
1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計30単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 日本語8単位以上、日本事情4単位以上
(2) 数理・情報分野 2単位以上
(3) 自然分野 2単位以上
(4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
(5) 体育分野 2単位以上
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計82単位以上を修得しなければならない。
(1) 専門共通部門 14単位以上
(2) ビジネス部門 14単位以上
(3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
(4) 語学部門 28単位以上
(5) 演習部門 12単位以上
(6) 中国語情報部門 2単位以上
3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるようになっています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います(「現地プログラム」)。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほかに、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」(現地で調査活動を行うプログラム)や、「現地インターンシップ」(現地の企業で研修を行うプログラム)などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。		

履修モデル	コース	言語文化コース(現地研究調査を履修する日本人学生の場合)
養成する人材像	高度な中国語・英語能力を持ち、東アジアの文化交流に貢献できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セミスター	単位	第2セミスター	単位	第3セミスター	単位	第4セミスター	単位	第5セミスター	単位	第6セミスター	単位	第7セミスター	単位	第8セミスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1			TOEIC I	1	TOEIC II	2	TOEIC III	2	Writing I	2	Writing II	2	11
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	科学と社会	2	環境と都市	2			社会データ分析入門	2	社会思想史	2							20
		言語と人間	2	歴史学入門	2			民族と国家	2									
		日本理解 I	2	日本理解 II	2			異文化コミュニケーション	2									
	体育分野	スポーツ・健康演習	2			スポーツ実技 I	1											3
専門教育科目	専門共通部門	現代中国入門	2	中国文学概説	2			現代中国学総論	2	東アジアポップカルチャー	2	日中関係論	2					14
		中国前近代史	2					中国語学概説	2									
	ビジネス部門											東アジア観光文化論	2					2
	言語文化部門			東アジア古典芸術論	2			中国現代文学史	2	中国教育論	2	中国語語彙論	2	中国現代文学論	2			18
										中国民俗学	2	東アジア現代文学論	2	中国語表現論	2			
										国際文化論	2							
	国際関係部門													中国民族論	2			2
	中国語強化部門							中国語プレゼンテーション I	2	中国語プレゼンテーション II	2							4
	外国書講読																	0
	語学部門	中国語リスニング I	1	中国語リスニング II	1	応用中国語 I	2	コミュニケーション中国語 I	2	コミュニケーション中国語 II	2	日中ビジネス会話 I	2					34
		基礎中国語 I	1	基礎中国語 V	1	応用中国語 II	2	Business English	2									
		基礎中国語 II	1	基礎中国語 VI	1	応用中国語 III	2											
		基礎中国語 III	1	基礎中国語 VII	1	応用中国語 IV	2											
		基礎中国語 IV	1	基礎中国語 VIII	1	応用中国語 V	2											
						応用中国語 VI	2											
						応用中国語 VII	2											
						応用中国語 VIII	2											
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習 I	2	専門演習 II	2	専門演習 III	2	専門演習 IV	2	16
																卒業研究	4	
	中国語情報部門			中国データ分析	2													2
	現地プログラム部門			現地プログラム基礎	2	現地ライフレポート	1											9
				現地プログラム生活事前教育	2	中国文化講座	2											
						現代中国社会学論	2											
	現地調査部門									国際社会調査論	2	現地研究調査・報告	2					6
												現地研究調査基礎	2					
	現地インターンシップ関連部門																	0
	隣接・関連部門																	0
	教職課程科目																	0
合 計			20		22		22		21		22		16		10		8	141

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計21単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 英語 3単位以上
(2) 数理・情報分野 2単位以上
(3) 自然分野 2単位以上
(4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
(5) 体育分野 2単位以上
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計82単位以上を修得しなければならない。
(1) 専門共通部門 14単位以上
(2) ビジネス部門 14単位以上
(3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
(4) 語学部門 28単位以上
(5) 演習部門 12単位以上
(6) 中国語情報部門 2単位以上
3 上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から21単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるようになっています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います（「現地プログラム」）。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほか、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」（現地で調査活動を行うプログラム）や、「現地インターンシップ」（現地の企業で研修を行うプログラム）などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。		

履修モデル	コース	言語文化コース(現地研究調査を履修する中国語を母語としない留学生の場合)
養成する人材像	高度な中国語・英語・日本語能力を持ち、東アジアの文化交流に貢献できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セマター	単位	第2セマター	単位	第3セマター	単位	第4セマター	単位	第5セマター	単位	第6セマター	単位	第7セマター	単位	第8セマター	単位	
共通教育科目	外国語分野	日本語Ⅰ	1	日本語Ⅲ	1			日本語Ⅶ	1	ビジネス日本語Ⅰ	2	ビジネス日本語Ⅱ	2	専門日本語Ⅰ	2	専門日本語Ⅱ	2	25
		日本語Ⅱ	1	日本語Ⅳ	1			日本語Ⅷ	1	TOEICⅡ	2	TOEICⅢ	2					
		日本語Ⅴ	1	日本語Ⅵ	1			TOEICⅠ	1									
		日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	日本理解Ⅰ	2	マルチメディア表現法	2			情報リテラシー入門	1	文学と人間	2	健康と栄養	2					15
		環境と都市	2					日本理解Ⅱ	2			異文化コミュニケーション	2					
	体育分野	スポーツ・健康演習	2			スポーツ実技Ⅰ	1											3
専門教育科目	専門共通部門	現代中国入門	2	中国地理	2			現代中国学総論	2			日中関係論	2					16
		相互交流基礎	2	中華人民共和国史	2			中国語学概説	2									
								中国経済概説	2									
	ビジネス部門											東アジア観光文化論	2					2
	言語文化部門							中国現代文学史	2	中国教育論	2	中国語語彙論	2	日中比較文化論	2			18
								東アジア現代芸術論	2	中国民俗学	2	東アジア現代文学論	2	中国語表現論	2			
										国際文化論	2							
	国際関係部門													中国民族論	2			2
	中国語強化部門							中国語プレゼンテーションⅠ	2	中国語プレゼンテーションⅡ	2							4
	外国書講読																	0
	語学部門	中国語リスニングⅠ	1	中国語リスニングⅡ	1	応用中国語Ⅰ	2	コミュニケーション中国語Ⅰ	2	コミュニケーション中国語Ⅱ	2	日中ビジネス会話Ⅰ	2					32
		基礎中国語Ⅰ	1	基礎中国語Ⅴ	1	応用中国語Ⅱ	2											
		基礎中国語Ⅱ	1	基礎中国語Ⅵ	1	応用中国語Ⅲ	2											
		基礎中国語Ⅲ	1	基礎中国語Ⅶ	1	応用中国語Ⅳ	2											
		基礎中国語Ⅳ	1	基礎中国語Ⅷ	1	応用中国語Ⅴ	2											
						応用中国語Ⅵ	2											
						応用中国語Ⅶ	2											
						応用中国語Ⅷ	2											
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	16
																卒業研究	4	
	中国語情報部門			中国データ分析	2													2
	現地プログラム部門			現地プログラム基礎	2	現地ライフレポート	1											9
				現地プログラム生活事前教育	2	中国文化講座	2											
						現代中国社会論	2											
	現地研究調査部門									国際社会調査論	2	現地研究調査・報告	2					6
										現地研究調査基礎	2							
	現地インターンシップ部門																	0
	隣接・関連部門													日本の伝統芸能	2			2
	教職課程科目																	0
合 計			22		22		22		22		22		22		12		8	152

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計30単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 日本語8単位以上、日本事情4単位以上
(2) 数理・情報分野 2単位以上
(3) 自然分野 2単位以上
(4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
(5) 体育分野 2単位以上
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計82単位以上を修得しなければならない。
(1) 専門共通部門 14単位以上
(2) 言語部門 14単位以上
(3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
(4) 語学部門 28単位以上
(5) 演習部門 12単位以上
(6) 中国語情報部門 2単位以上
3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から12単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるようにしています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います(「現地プログラム」)。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほかに、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」(現地で調査活動を行うプログラム)や、「現地インターンシップ」(現地の企業で研修を行うプログラム)などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。		

履修モデル	コース	国際関係コース(現地研究調査を履修する日本人学生の場合)
養成する人材像	中国語及び英語能力を備え、国際的な広い視点を身につけ、国際的に幅広く活躍できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セマスタ	単位	第2セマスタ	単位	第3セマスタ	単位	第4セマスタ	単位	第5セマスタ	単位	第6セマスタ	単位	第7セマスタ	単位	第8セマスタ	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1			TOEIC I	1	TOEIC II	2	TOEICⅢ	2	English Seminar I	2	English SeminarⅡ	2	11
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	政治学入門	2	経済学入門	2			社会データ分析入門	2	民族と国家	2	社会と宗教	2					18
		国際関係論	2	日本理解Ⅱ	2							環境の科学	2					
		日本理解Ⅰ	2															
	体育分野	スポーツ・健康演習	2			スポーツ実技Ⅰ	1											3
専門教育科目	専門共通部門	現代中国入門	2	中華人民共和国史	2			現代中国学総論	2			日中戦争史	2	中国社会論	2			18
		東アジアポップカルチャー	2	中国近代史	2			日中関係論	2									
		中国前近代史	2															
	ビジネス部門							中国経済論	2									4
								中国国際経済論	2									
	言語文化部門													中国教育論	2			2
	国際関係部門			東アジア観光文化論	2			アジア社会論	2	国際文化論	2	日本外交論	2	アジア経済関係論	2	中国法	2	24
										中国民族論	2	東アジア国際政治	2	中国近代思想史	2	国際経済学概説	2	
										中国政治論	2	中国外交論	2					
	中国語強化部門									上級中国語Ⅰ	2	上級中国語Ⅱ	2					4
	外国書講読																	0
	語学部門	中国語リスニングⅠ	1	中国語リスニングⅡ	1	応用中国語Ⅰ	2	コミュニケーション中国語Ⅰ	2	コミュニケーション中国語Ⅱ	2							36
		基礎中国語Ⅰ	1	基礎中国語Ⅴ	1	応用中国語Ⅱ	2	日中ビジネス会話Ⅰ	2	日中ビジネス会話Ⅱ	2							
		基礎中国語Ⅱ	1	基礎中国語Ⅵ	1	応用中国語Ⅲ	2	Business English	2									
		基礎中国語Ⅲ	1	基礎中国語Ⅶ	1	応用中国語Ⅳ	2											
		基礎中国語Ⅳ	1	基礎中国語Ⅷ	1	応用中国語Ⅴ	2											
						応用中国語Ⅵ	2											
						応用中国語Ⅶ	2											
						応用中国語Ⅷ	2											
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2	16
																卒業研究	4	
	中国語情報部門			中国データ分析	2													2
	現地プログラム部門			現地プログラム基礎	2	現地ライブレポート	1											9
				現地プログラム生活事前教育	2	中国文化講座	2											
						現代中国社会論	2											
	現地調査部門									国際社会調査論	2	現地研究調査・報告	2					6
										現地研究調査基礎	2							
	現地インターンシップ関連部門																	0
	隣接・関連部門																	0
	教職課程科目																	0
合 計			22		22		22		21		22		20		12		12	153

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計21単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 英語 3単位以上
(2) 数理・情報分野 2単位以上
(3) 自然分野 2単位以上
(4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
(5) 体育分野 2単位以上
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計82単位以上を修得しなければならない。
(1) 専門共通部門 14単位以上
(2) 国際関係部門 14単位以上
(3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
(4) 語学部門 28単位以上
(5) 演習部門 12単位以上
(6) 中国語情報部門 2単位以上
3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から21単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（現代中国学部 現代中国学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	現代中国学部・現代中国学科		対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	現代中国学部では、全学共通および学部独自の厳格な成績評価基準の下で、履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および履修要件等をすべて満たし、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。必修の卒業研究では、ゼミを中心とした徹底指導を行い、査読および口頭試問により、現代中国に対する広い知識や的確な判断力が身についているか、現地主義教育に基づく国際的視野と識見が備わっているか、さらには多文化共生を目指す態度とそのためのコミュニケーション能力を身につけているかなどを確認します。			
カリキュラム・ポリシー	現代中国学部では、現代中国を総合的に学ぶことのできる日本唯一の学部であり、ハイレベルな中国語コミュニケーション能力の修得だけでなく、学ぶ側の興味やレベルに合わせて選択できる多彩なプログラムを用意し、現代中国について様々な角度からアプローチできるようにになっています。それらを通して現代中国に対する理解を深めると同時に、自覚的に学ぶことの大切さを知り、実践的な課題に対応できる柔軟な思考を身につけた、国際的視野、識見、行動力を備えた人材の養成を目指しています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 1・2年次は中国語を必修として重点的に学習します。2年次春学期には実践的な中国語の運用能力を身につけるため、中国・台湾・マレーシアの大学で4ヶ月間語学研修を行います(「現地プログラム」)。このため、1年次には中国語の基礎となる発音・文法・会話をしっかり学ぶほかに、現地での生活に必要な用語や知識も学びます。帰国後も会話を中心とした授業でさらなるスキルアップを目指します。そこで培った中国語力は、3年次に行われる「現地研究調査」(現地で調査活動を行うプログラム)や、「現地インターンシップ」(現地の企業で研修を行うプログラム)などで活かされることになります。これらのプログラムは、現代中国学部が特に重視している「現地主義」教育を具現化したものです。 (2) 1年次には、共通教育科目を履修することで大学で必要となる基礎的能力を身につけ、同時に専門教育科目を履修することで現代中国研究に必要な基礎的知識を修得します。さらに日本を理解し発信するための「さくら21」科目を履修し、日本に対する理解を深め外に発信する力を養います。「入門演習」等の演習科目では、アクティブラーニングを通して自らが得た知識をいかに発信するかを主体的に考え実践します。2年次秋学期からは、各自の興味、関心に応じて、「ビジネス」「言語文化」「国際関係」の3コースに分かれて学びますが、科目選択の制限は緩やかで、他のコースの科目も選択できます。さらに各コース共通の中国語強化コースが準備され、通訳やビジネスのためのより実践的な訓練を行うことができます。また、英語教育にも力を入れており、全学共通科目の「TOEIC」等の科目以外に、「Business English」を設けるなど学部独自の英語教育も行っています。			

履修モデル	コース	国際関係コース(現地インターンシップを履修する中国語を母語とする留学生の場合)
養成する人材像	日本語及び英語能力を備え、国際的な広い視点を身につけ、国際的に幅広く活躍できる人材の養成を目指す。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位	
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位		
共通教育科目 教育	外国語分野	日本語Ⅰ	1	日本語Ⅲ	1	日本語Ⅴ	1	日本語Ⅶ	1	ビジネス日本語Ⅰ	2	ビジネス日本語Ⅱ	2					33	
		日本語Ⅱ	1	日本語Ⅳ	1	日本語Ⅵ	1	日本語Ⅷ	1	専門日本語Ⅰ	2	専門日本語Ⅱ	2						
		日本事情Ⅰ	2	日本事情Ⅱ	2														
		ReadingⅠ	1	ReadingⅡ	1	Communication SkillsⅠ	2	TOEICⅠ	1	TOEICⅡ	2	TOEICⅢ	2	WritingⅠ	2	WritingⅡ	2		
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報リテラシー入門	1	情報リテラシー応用	1	プレゼンテーション技術	2	日本発信応用	2	健康と栄養	2	キャリアデザイン基礎	2	キャリアデザイン応用	2				26
		政治学入門	2	社会学入門	2	環境と都市	2			国際関係論	2								
		日本理解Ⅰ	2	日本理解Ⅱ	2	日本発信基礎	2												
	体育分野	スポーツ・健康演習	2															2	
	専門共通部門	現代中国入門	2	中国経済概説	2			現代中国学総論	2	中国社会論	2	日中関係論	2						24
		相互交流基礎	2	中国地理	2			日中戦争史	2										
		中国前近代史	2	中国近代史	2														
		東アジアポップカルチャー	2	中華人民共和国史	2														
	ビジネス部門											中国国際経済論	2					2	
	言語文化部門													中国教育論	2	東アジア古典芸術論	2	4	
	国際関係部門			東アジア観光文化論	2	中国政治論	2	日本外交論	2	アジア経済関係論	2	アジア社会論	2	中国近代思想史	2				24
						中国民族論	2	東アジア国際政治	2			中国外交論	2						
						国際文化論	2					国際経済学概説	2						
						日中比較文化論	2												
	中国語強化部門																	0	
	外国書講読																	0	
	語学部門							Business English	2	日中ビジネス会話Ⅱ	2								6
								日中ビジネス会話Ⅰ	2										
	演習部門	入門演習	2					基礎演習	2	専門演習Ⅰ	2	専門演習Ⅱ	2	専門演習Ⅲ	2	専門演習Ⅳ	2		16
																卒業研究	4		
	中国語情報部門			ネットワーク情報論	2													2	
	現地プログラム部門																		0
	現地調査部門																	0	
	現地インターンシップ関連部門									現地インターンシップ事前研修	2	現地インターンシップ研究報告	2					4	
	隣接・関連部門					日本経済論Ⅰ	2	日本経済論Ⅱ	2	国際法総論1	2			会計学入門	2				10
					日本の伝統芸能	2													
教職課程科目																	0		
合 計			22		22		22		21		22		22		12		10	153	

- 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計33単位以上を修得しなければならない。
- (1) 外国語分野 英語 3単位以上、日本語8単位以上、日本事情4単位以上
 - (2) 数理・情報分野 2単位以上
 - (3) 自然分野 2単位以上
 - (4) 数理・情報分野、自然分野、社会分野、人文分野、総合の中から 12単位以上
 - (5) 体育分野 2単位以上
- 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計54単位以上を修得しなければならない。
- (1) 専門共通部門 14単位以上
 - (2) 国際関係部門 14単位以上
 - (3) ビジネス部門、言語文化部門、国際関係部門、中国語強化部門、外国書講読の中から12単位以上
 - (4) 演習部門 12単位以上
 - (5) 中国語情報部門 2単位以上
- 3 上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から37単位以上を修得しなければならない。